

「美白化粧品がカラダの中で何をしているのか知ろう」

～2018年10月8日開催の薬学部薬科学科「体験入学」から～



2018年10月8日（月）に、薬学部薬科学科の「体験入学」が開催されました。事前申し込みいただいた学生の皆さんは10時前には受付を済ませ、徳留先生の特別講義を待ちました。

特別講義の内容は「美白化粧品がカラダの中で何をしているのか知ろう。～メラニン本当に悪役なの？～」です。シミの原因であるメラニンができるまでについて、メラニンは紫外線を吸収し肌を守る働きがあること、しかし紫外線を浴びすぎるとメラニンが過剰にできてシミの原因にもなること、などを話されました。

化粧品に関する実習は「美白化粧品って本当に効くの？美白化粧品の効果を目で見てみよう！！」マッシュルームを使っての実習です。マッシュルームにはチロシナーゼという酵素が含まれているので、薄く切ったマッシュルームに美白化粧品を塗ったあとに、メラニンの出発原料であるドーパをかけ、その後、メラニンが作られるかどうかの実験でした。いくつかのマッシュルームはドーパをかけたらすぐに茶色く変わり、学生の皆さんは驚きの目で見っていました。

講義と実習が終わった後は、今日のお手伝いをしてくださった在学生の皆さんと一緒に昼食をとりました。

徳留先生はすべてがオールマイティにできなくても良いので、自分の興味のあること好きなことが一つでもあったらそれを熱心に続けていけば良い。何か興味をもって一歩踏み出そうとしている人は素晴らしいし何かと一緒にやりたいと思う。技術者や研究者として薬科学科を卒業するならば、一緒に研究などが出来ればうれしいし卒業後も一生つきあっていきたいと話されました。

